

各工場・倉庫をネットワーク連携で一つに！生産現場の進化！

取組みを始めた背景

マリンピア 3 工場、津田倉庫を所有しているが、**ネットワーク連携ができていない。**

各工場、倉庫が離れているため、加工データが入った記録媒体や部材を**作業者が運ぶ**必要があり、作業効率が悪い。

加工には部材の変化や切削状況を見極める必要があり、**属人的で熟練者に大きく依存**しているが、人材が不足している。

以上の理由により、生産効率が悪く受注を断ることが多くなってきている。



【加工までの手順】

- ① 倉庫から工場へ部材を運搬
- ② 記録媒体を使用し、CADデータを作業者が運ぶ
- ③ 熟練技術による加工
- ④ 加工状態を把握するために、何度も工作機を確認

有限会社 天野鉄工所

生産用機械器具製造業

取組み内容

マリンピア 3 工場と津田倉庫をネットワークで繋ぐシステムを構築する。

津田倉庫に温度変化による加工点の変位を補正する**マシニングセンタを導入**し、新たな生産拠点とする。



効果（成果）

マシニングセンタ導入による生産性アップ

- 経験が浅い者でも高速加工・高精度加工が可能
- 外注に頼ることなく全て自社で対応可能
- 部材の移動時間の削減

生産性 10%向上

外注費 **6,000,000 円 / 年間 削減**

600 時間 / 年間 削減

ネットワーク連携による作業効率アップ

- ネットワークを介して CAD データを直接転送可能

560 時間 / 年間 削減

今後の取り組み

マシニングセンタから得られた、部材の熱変化データを蓄積し、分析することで、熟練者しか持ち得なかった技術・経験の見える化を行い、社員育成へと活用し、技術承継の足がかりとする。

分散している生産拠点をデータの一元管理により、さらなる業務の効率化を図っていく。

マリンピア 3 工場+津田倉庫のリモート化、遠隔制御化を実現し、さらなる生産性向上を目指す。

